

豊田市議会議員

# 水野ひろふみ レター -第24号- 繋ごう! 地域力

Hirofumi Mizuno LETTER



## 新年明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年、年明け1月に日本ボッチャ選手権大会のパラスポーツを皮切りに、5月にはFIA世界ラリー選手権のモータースポーツ、秋には愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会が開催されるなど、世界的なスポーツ大会で豊田市が熱くなる年になります。アジア大会では地元の豊田スタジアムでサッカー競技が行われます。スポーツパークを目指す中央公園では、第2期整備事業が急ピッチで進行しており、人工芝サッカー場のネットと照明用の支柱が建つなど豊田市駅前整備と共に新しい街の形成が姿を現してきました。毘森公園と中央公園の2つの総合公園を結ぶ本市の都心が、安らぎと潤いの中心市街地に発展することが期待されます。

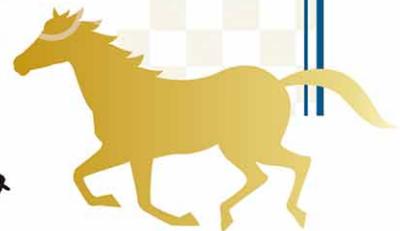
いよいよ新年度になると、議員生活3期目の最終年になります。世界情勢により目まぐるしく変化する現在、フェイクニュースなどに惑わされることなく実直に取り組むことが重要と考えます。そこで今年の言葉を「謹厳実直(きんげんじつちよく)」とし、つつしみ深くまじめで正直であることを心に秘め議員活動に邁進して参ります。結びに本年が皆さまにとっても、素晴らしい年でありますことを心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

豊田市議会議員 水野ひろふみ

今年の  
言葉

謹  
厳  
実  
直

きんげんじつちよく



新年  
交礼会  
のご案内



新年を皆さまと迎えるにあたり、市議会報告を兼ねた新年交礼会を開催いたします。

「おしるこ」を頂きながら楽しい時間を過ごしましょう。

ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

※参加会費 100円です

1月18日(日)13時より

野見区民会館

1月25日(日)13時より

志賀区民会館



## 市道高上東山線から

5年間ほど前から美里地区全体で要望を重ね続けてきた、道路との段差をなくす歩道整備の工事が事業化となり、来年度には工事が着工していきます。今後も美里中学校を通過し、国道301号まで歩行者等の安全対策を推進していきます。



## 通学路の安全確保

いよいよ御立野見1号線の吉田整形外科から豊田東高校までの未整備区間が、今年度完成する運びとなりました。子ども達の安全がまた一つ確保されます。また、森町の歩道も幅を広げて頂き、小学生が安心して通学できるようになりました。五ヶ丘緑地では、草木が柵の外にはみ出するため、コンクリートで固める形で整備が完了しました。



▲ 御立野見1号線



▲ 森町の歩道拡幅



▲ 五ヶ丘緑地の再整備

## 宝来南公園の岩が...

宝来南公園では石積擁壁の上の法面から岩が落下する事案が起きました。けが人もなかったので一安心ですが、安全対策としてモルタル吹付工を行いました。



## 鈴木雅博元県議とタッグを組んで

大見町の急傾斜地崩壊対策事業が設計から本格工事へと移行しました。急傾斜地の規模が大きいので、工事に時間を要しますが今回のエリアでは待受式重力式擁壁の一部が完成しています。まだ先は長いですが、早期完成を目指していきます。



## ふれあい集会 野見支部での出来事

各地域で開催している「ふれあい集会」では、身近な地域課題をお聴きしています。野見支部では、防災意識が高く、急傾斜地にある大木や榎尾川の堆積物などの話が出ました。早速、現地確認をして対策をしていきます。今後も、美里益富地域での課題収集に耳を傾けて参りますので、いつでもお声がけをください。



▲ ちびっこ広場のフェンス



▲ 榎尾川の浚渫



▲ 急傾斜の大木



▲ 榎尾川の浚渫

## 野見神社に 突然の訪問者

相撲の神様・野見宿祢を祀っている野見神社に、元横綱白鵬関が突然お見えになりました。慌てて、鈴木宮司にお願いをして、参拝をしていただきました。白鵬関も「全国の野見神社のなかで、ここが一番立派に祀られている」と感心されていました。その他にもこの地域には多くの伝統文化が根付いており、守っていく必要があります。



▲ 元横綱白鵬 関 参拝



▲ 東山子供獅子舞



▲ 古瀬間ばやし保存会



▲ 野見囃子保存会



▲ 鷲取神社巫女舞



▲ 自民党森山幹事長へ要望



▲ 笹川農林水産副大臣

## 夏の要望活動

令和7年8月に、当時の自民党森山幹事長に面会し昨年冬に引続き、豊田市の要望を直接お渡しし意見交換させて頂きました。また、笹川農水副大臣とも、豊田市の「農」について話し合いをしました。



# 定例会一般質問

9月1日(月)

質問の骨子

地方自治法の財政運営は「単年度主義」のため、その年に集めた税収で、その年の事業を賄うのが基本原則となる。必要以上に税収を基金等にためて活用しないのは市民に対して「サービスの先送り」とも捉われる。実質収支が増加傾向の中で、物価高に苦しむ市民に対しての対応策を質問する

## 物価高に苦しむ現在において「積極的な市民サービスの充実」をどう考えているのか質疑する



1

令和6年度の歳入総額から歳出総額の差引額は170億円余、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた、実質収支は81億円余となった。「実質収支増加の課題」をどう捉えているのか



1

決算において実質収支が発生する主な要因は、予算額を上回る収入、予算額を下回る支出であったことが挙げられる。実質収支増加の要因として、歳出面では工事請負費の変更額や予防接種費などの必要額の見込みが難しい経費の増加。当初予算規模の増加に加え、繰越後の予算額が変更できない発注時期の平準化に伴う予算繰越の増加。しかし執行できなかった予算を別の事業に配分することで別事業を推進できた可能性もあるため、必要な予算額の精査に更に努めていく。



2

実質収支には一定の活用ルールがあるが、「過去の実質収支の活用方法」を伺う



2

実質収支は、各会計年度において歳入歳出の決算上余剰金であり、余剰金については地方財政法で、余剰金のうち2分の1をくだらない金額は、余剰金を生じた翌々年度までに、積み立て、または償還期限を繰り上げて行う地方債の償還の財源に充てなければならないと規定されている。このため、本市においては原則、余剰金が生じた翌年度に実質収支の2分の1をくだらない額を基金に積み立て、年度間の財政調整として活用している。また、実質収支は翌年度の補正予算の財源としても活用するほか、歳入予算の実績が予算額を下回った時の財源補填としても活用している。



提言

令和6年度実質収支を財源とした、物価高対策の補正予算を消費下支えに期待する生活者支援として、12月定例会に上程していただくことを提言する



3

9月定例会では補正予算の上程されなかった「市民が実感する物価高対策」の考えを伺う



3

これまで、国の交付金を活用した事業に加え、生活困窮者の相談窓口を設置し生活相談や就労支援、中小企業向けに信用保証料を補助するなど継続的に取り組んできた。引き続き、個人や事業者の相談対応を行う中で状況把握するとともに、国や県の動向に注視し、状況に応じた物価高対策を検討していく。

答弁に対する意見

国や県の動向を注視するのではなく、すぐに実行しなければ、12月補正予算にも間に合わず、結局、実質収支の剰余金を他の収支に嵌めてしまうことになる。「サービスの先送り」にならないよう市民全体に還元できる、物価高対策を考えるべきと意見を申し添えておく。

結果

12月定例会に商品券利用による10億円規模の物価高対策の補正予算が上程され可決しました。販売期間や実施期間がそれぞれのプレミアム率で出てきますので、市役所、商工会議所、商工会等からの情報を注視していただきます。

市政のご意見・相談はこちらまで - みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください -

TEL (0565) 89-7515 FAX (0565) 85-8295

WEB <https://mizuno-hirofumi.jp/> E-mail [letter@mizuno-hirofumi.jp](mailto:letter@mizuno-hirofumi.jp)  
【水野ひろふみ後援会事務所】 〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内

何でも目安箱

家具センターミタチ  
入口の目安箱に投函  
ください。

